

# 2025 年 3 月時点の北九州市の文化芸術・スポーツに対する市民意識

南 博

## 1. 本調査研究の背景と目的

南（2024）等でまとめているように、北九州市立大学地域戦略研究所の地域課題研究では、2009 年度以降、スポーツイベント（みるスポーツ）等に関する市民意識を把握し、地域活性化に資するスポーツイベント等のあり方などに関する検討に継続的に取り組んでいる。また、2023 年度からは文化芸術に対する市民意識の把握も併せて実施を始めた。

スポーツや文化芸術が地域社会・地域経済に与える効果は多岐にわたり、特に各種イベントの開催により街ににぎわいをもたらすことが期待され、北九州市においても行政や民間企業・団体、教育機関等が協働して様々な取り組みが行われている。

南（2024）等で記しているとおり、筆者は北九州市をホームタウンとするギラヴァンツ北九州が J リーグに加盟した 2010 年以降のほぼ毎年、J リーグ開幕直前または直後の時期（2 月または 3 月）に、北九州市民を対象としてギラヴァンツ北九州やミクニワールドスタジアム北九州に関するアンケート調査を実施し、また近年はスポーツイベント全般や文化芸術関連、あるいはその時点での社会状況に応じた設問を追加（例：2020～2023 年度はコロナ禍に関連した設問を追加）して調査を継続的に実施している。

市民意識を定点観測的に把握し変化をみることは、地域における各種取組を評価するうえで、あるいは今後の地域での取り組みを検討していくうえで重要な基礎資料となり得る。客観的立場から北九州市民に対する意識調査、行動実態調査を行うことは大学として重要な役割であると考え。そこで本調査研究では、例年と同様、北九州市における文化芸術・スポーツ（特にみるスポーツ）に対する市民意識の現状を把握し地域における取り組みの成果と課題等を考察し、今後の政策提言のための基礎資料を得ることを目的とする。

そのため、例年と同時期となる 2025 年 3 月上旬に北九州市民に対する市民意識調査を実施する。本稿は南（2024）等と同様、その結果を速報的にとりまとめ、経年比較を加えて考察したものである。なお、本稿は前述のとおり一連の調査研究（定点調査）の一部となるため、比較検討の観点から本稿全般にわたり過去の一連の調査結果を踏まえた記述となっており、特に南（2016）、南（2017）、南（2018）、南（2019）、南（2020a）、南（2021）、南（2022a）、南（2023）、南（2024）の記述をもとに加筆修正を行った表現および内容で構成している。

## 2. 調査方法および実施概要

### （1）方法と実施概要

2010 年以降の過去の一連の市民意識調査においては、北九州市に居住する 18 歳以上の市民のうち、民間調査会社が管理・利用する調査モニターへ登録している市民を対象とし

たインターネット調査を用いてきた<sup>1)</sup>。経年変化の把握の観点から、2025 年 3 月上旬実施の市民意識調査においても同様の手法で実施した。実施概要を表 1 に示す。なお、便宜上、本調査については調査終了時点の日付に基づき「2025 年 3 月調査」と本稿においては称する。なお、ギラヴァンツ北九州の北九州市内でのシーズン開幕戦との時期的な関係性については、開幕戦から 10 日間程度経過した時期の調査となる。

また、地域課題研究において筆者が実施してきた過去の一連の調査実施概要を表 2 に示す。各年とも同様の手法・時期に実施しており、これらを比較することは妥当と考える。

表 1 2025 年 3 月実施の市民意識調査の実施概要

|       |                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象  | 北九州市に居住する 18 歳以上の市民のうち、民間調査会社が管理・利用する調査モニターへ登録している市民                              |
| 調査方法  | インターネット調査（調査協力依頼・回収は民間調査会社に委託）                                                    |
| 実施期間  | 2025 年 3 月 4 日（火）～3 月 6 日（木）<br>※2025 シーズンのギラヴァンツ北九州の北九州での開幕戦： 2025 年 2 月 22 日（土） |
| 有効回収数 | 530 サンプル<br>※費用の都合上、サンプル数を見直した。回答数合計の傾向をみる上で必要なサンプル数を満たすと考ええる。                    |

表 2 過去の一連の調査実施概要

| 年（年度とは異なる） | 調査対象                                                 | 調査方法      | 実施期間                             |                       | 有効回収数 |
|------------|------------------------------------------------------|-----------|----------------------------------|-----------------------|-------|
|            |                                                      |           |                                  | ※ギラヴァンツ開幕戦            |       |
| 2010 年     | 北九州市に居住する 18 歳以上の市民のうち、民間調査会社が管理・利用する調査モニターへ登録している市民 | インターネット調査 | 2010 年<br>2 月 26 日(金)～3 月 2 日(火) | 2010 年<br>3 月 7 日(日)  | 2,486 |
| 2012 年     |                                                      |           | 2012 年<br>2 月 24 日(金)～29 日(水)    | 2012 年<br>3 月 4 日(日)  | 1,818 |
| 2013 年     |                                                      |           | 2013 年<br>3 月 25 日(月)～27 日(水)    | 2013 年<br>3 月 3 日(日)  | 1,468 |
| 2015 年     |                                                      |           | 2015 年<br>3 月 4 日(水)～6 日(金)      | 2015 年<br>3 月 8 日(日)  | 1,844 |
| 2016 年     |                                                      |           | 2016 年<br>3 月 15 日(火)～17 日(木)    | 2016 年<br>2 月 28 日(日) | 1,087 |
| 2017 年     |                                                      |           | 2017 年<br>3 月 24 日(金)～27 日(月)    | 2017 年<br>3 月 12 日(日) | 1,088 |
| 2018 年     |                                                      |           | 2018 年<br>3 月 16 日(金)～19 日(月)    | 2018 年<br>3 月 17 日(土) | 1,062 |
| 2019 年     |                                                      |           | 2019 年<br>3 月 6 日(水)～8 日(金)      | 2019 年<br>3 月 10 日(日) | 1,045 |
| 2020 年     |                                                      |           | 2020 年<br>3 月 9 日(月)～11 日(水)     | 2020 年<br>2 月 23 日(日) | 526   |
| 2021 年     |                                                      |           | 2021 年<br>3 月 5 日(金)～8 日(月)      | 2021 年<br>2 月 27 日(土) | 1,030 |
| 2022 年     |                                                      |           | 2022 年<br>3 月 2 日(水)～4 日(金)      | 2022 年<br>3 月 13 日(日) | 1,035 |
| 2023 年     |                                                      |           | 2023 年<br>2 月 28 日(火)～3 月 2 日(木) | 2023 年<br>3 月 5 日(日)  | 1,049 |
| 2024 年     |                                                      |           | 2024 年<br>3 月 7 日(木)～11 日(月)     | 2024 年<br>2 月 24 日(土) | 1,087 |
| 2025 年     |                                                      |           | 2025 年<br>3 月 4 日(火)～6 日(木)      | 2025 年<br>2 月 22 日(土) | 530   |

※2011 年、2014 年は調査を実施していない。

## (2) 調査項目

2025 年 3 月調査の調査項目を表 3 に示す。2024 年 3 月調査と比較すると、1 問削除した以外は同じ設問（設問文の時点修正は実施）とした。

表 3 2025 年 3 月調査における調査項目一覧

| 分類                                 | 番号   | 設問                                                                                         | 備考①             | 備考②                 |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------|
| 基本属性                               | Q1-1 | 性別                                                                                         |                 |                     |
|                                    | Q1-2 | 年齢                                                                                         |                 |                     |
|                                    | Q2   | 居住する行政区                                                                                    |                 |                     |
| 北九州スタジアム(ミクニワールドスタジアム北九州、ミクスタ)について | Q3   | ミクスタ来場経験の有無(2017年2月～現在)                                                                    |                 | 経年比較可               |
|                                    | Q4   | ミクスタへの満足度[立地場所、施設・設備の快適さ、施設管理状況、使われ方、総合的な評価]※5段階評価                                         | Q3「行ったことがある」対象  | 経年比較可               |
|                                    | Q5   | ミクスタで開かれるイベント種類の希望                                                                         |                 | 経年比較可               |
|                                    | Q6   | 今後のミクスタへの来場意向                                                                              |                 | 経年比較可               |
| サッカーJリーグについて                       | Q7   | 応援しているJリーグクラブ                                                                              |                 | 経年比較可               |
|                                    | Q8   | ギラヴァンツ(前身のニューウェーブ含む)試合のスタジアム観戦経験有無                                                         | Q7「ギラヴァンツを応援」対象 | 経年比較可<br>(2024調査以降) |
|                                    | Q9   | 今後のギラヴァンツの試合をミクスタで観戦する意向                                                                   |                 | 経年比較可               |
|                                    | Q10  | 観戦するつもりがない理由                                                                               | Q9「観戦しない」対象     | 経年比較可               |
|                                    | Q11  | ギラヴァンツ北九州に対する愛着の有無                                                                         |                 | 経年比較可               |
| スポーツ関連のその他のことについて                  | Q12  | 北九州市等で活動しているスポーツチームの認知・観戦状況[福岡ソフトバンクホークス、北九州下関フェニックス、ギラヴァンツ北九州、ボルクバレット北九州、タカギ北九州ウォーターウェーブ] |                 | 経年比較可               |
|                                    | Q13  | 北九州市等で活動しているスポーツチームの観戦意向[福岡ソフトバンクホークス、北九州下関フェニックス、ギラヴァンツ北九州、ボルクバレット北九州、タカギ北九州ウォーターウェーブ]    |                 | 経年比較可               |
|                                    | Q14  | 国際スポーツ大会、外国選手団キャンプ誘致の意義                                                                    |                 | 経年比較可               |
| 文化芸術や各種イベントのことについて                 | Q15  | 2023年に直接鑑賞した文化芸術分野                                                                         | 文化庁アンケートを参考     | 経年比較可<br>(2024調査以降) |
|                                    | Q16  | 文化芸術の直接鑑賞の場所                                                                               | Q15「直接鑑賞あり」対象   | 経年比較可<br>(2024調査以降) |
|                                    | Q17  | 北九州市の文化的な環境への満足度                                                                           | 文化庁アンケートを参考     | 経年比較可<br>(2024調査以降) |
|                                    | Q18  | 今後、北九州市内で直接鑑賞できる機会が増えてほしいとあなたが思う文化芸術分野                                                     | 文化庁アンケートを参考     | 経年比較可<br>(2024調査以降) |
|                                    | Q19  | 文化芸術関連のイベントを市役所が関わる形で開催することの重要性                                                            |                 | 経年比較可<br>(2024調査以降) |
|                                    | Q20  | 北九州市に対する愛着の有無                                                                              |                 | 経年比較可               |

※2024年調査にはあったが2025年調査では削除した設問

調査前年に北九州市内で開催されたイベントの認知度

## (3) 回答者の属性

性別については男性 54.2%であり、やや男性の方が多くなっている。年齢は 40 歳代以上が多くなっており、30 歳代以下は 10%に満たない（表 4）。居住する行政区については実際の行政区別人口構成比と近似している（表 5）。

2025 年 3 月調査結果について、過年度の一連の調査と比較を行う上での支障はないと考えるが、考察に際し中高年男性の比率が高い点（40 歳代以上の男性が回答者の 50.6%を占める点）には留意が必要である。

表 4 回答者の性別・年齢

| 性別<br>年齢        | 男性    | 女性    | 回答<br>しない | 回答者計<br>(n=530) |
|-----------------|-------|-------|-----------|-----------------|
| 18-29歳          | 0.6%  | 1.9%  | 0.0%      | 2.5%            |
| 30-39歳          | 3.0%  | 3.6%  | 0.0%      | 6.6%            |
| 40-49歳          | 8.9%  | 9.1%  | 0.8%      | 18.7%           |
| 50-59歳          | 15.8% | 13.0% | 0.0%      | 28.9%           |
| 60-69歳          | 14.3% | 10.9% | 0.2%      | 25.5%           |
| 70歳以上           | 11.5% | 6.2%  | 0.2%      | 17.9%           |
| 回答者計<br>(n=530) | 54.2% | 44.7% | 1.1%      | 100.0%          |

表 5 回答者の居住する行政区

|      | 回答者数<br>(n=530) | 構成比    | (参考)R2国調<br>人口構成比 |
|------|-----------------|--------|-------------------|
| 門司区  | 51              | 9.6%   | 10.0%             |
| 小倉北区 | 104             | 19.6%  | 19.5%             |
| 小倉南区 | 118             | 22.3%  | 22.3%             |
| 若松区  | 45              | 8.5%   | 8.6%              |
| 八幡東区 | 37              | 7.0%   | 6.9%              |
| 八幡西区 | 141             | 26.6%  | 26.6%             |
| 戸畑区  | 34              | 6.4%   | 6.1%              |
| 合計   | 530             | 100.0% | 100.0%            |

### 3. 2025 年 3 月調査の結果および経年比較と考察

#### (1) ミクニワールドスタジアム北九州（ミクスタ）について

##### ① ミクスタ北九州来場経験の有無

「あなたは、2017 年 2 月から 2025 年（今年）2 月までの間に、北九州スタジアム（ミクスタ）に行ったことがありますか。スポーツ観戦以外で行ったことがある人も『行ったことがある』と回答してください。（回答は 1 つ）」として、ミクスタ来場経験の有無を尋ねた。供用開始から約 8 年間にミクスタに行ったことがある人は回答者全体の 23.6%となっている（図 1）。経年比較すると「行ったことがある」市民は年々増加傾向にあり市民利用は概ね増加傾向にある（図 2）。

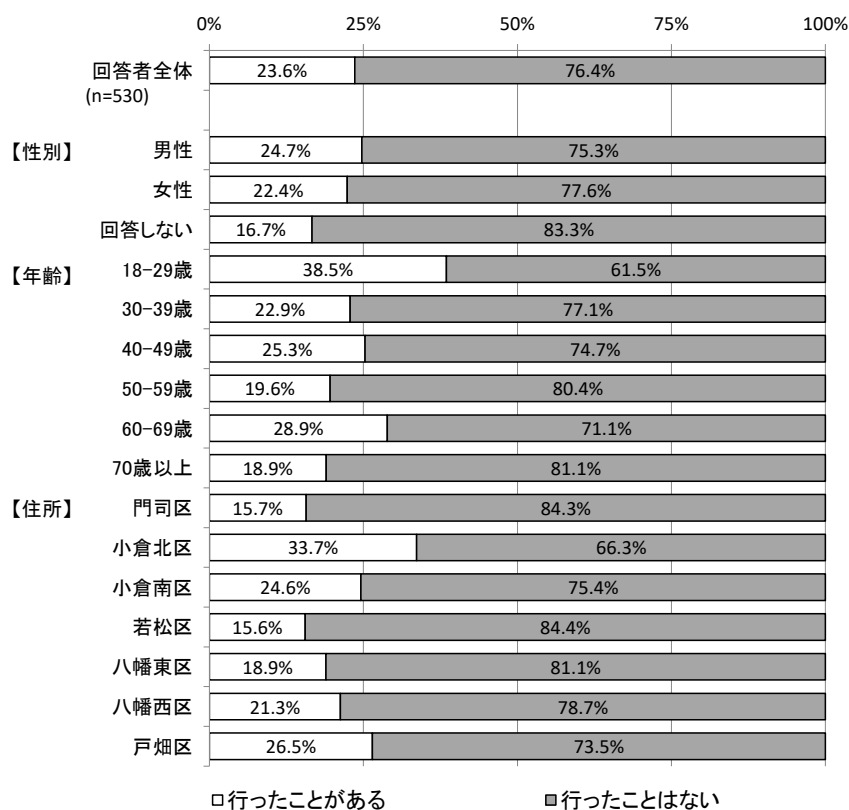


図 1 ミクスタ来場経験の有無（2025 年 3 月調査）

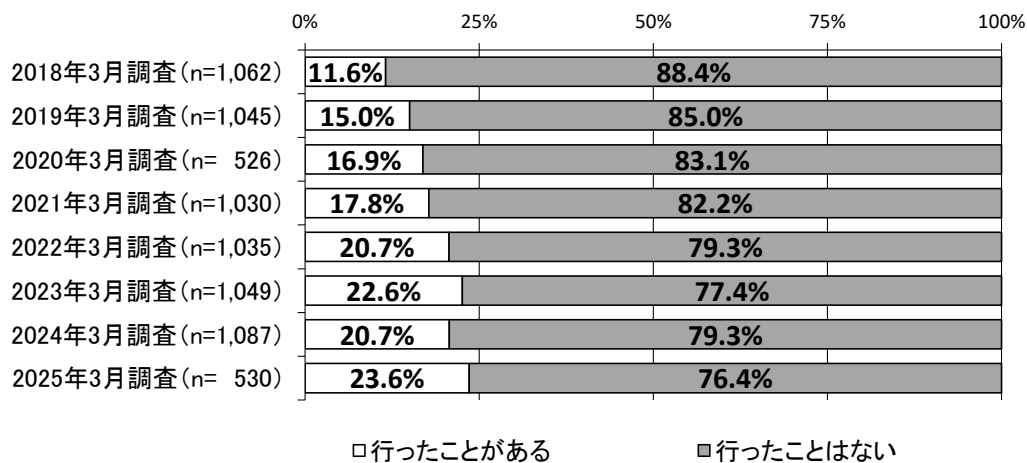


図 2 ミクスタ来場経験（経年比較）

## ② ミクスタへの満足度

①でミクスタに「行ったことがある」と回答した人（n=125）に対し、「北九州スタジアム（ミクスタ）への満足度について、最もあてはまる気持ちを一つ選んでください。」として、立地場所、施設・設備の快適さ、施設管理状況、使われ方、総合的な評価の 5 項目に関し、5 段階評価でミクスタへの満足度を尋ねた。

2025 年 3 月調査においては、「大変満足」および「やや満足」という肯定的な回答が各項目とも 50%以上となっている（図 3）。2024 年 3 月調査では 50%を下回っていた（43.6%）「使われ方」についても、今回は計 54.4%となっている。ミクスタを訪れたことがある市民からのミクスタの施設面への評価は比較的高評価となっている。例年 40%台であった「使われ方」の肯定的回答が 50%を上回った点については、ミクスタの有効活用への理解が進んだ可能性がある。

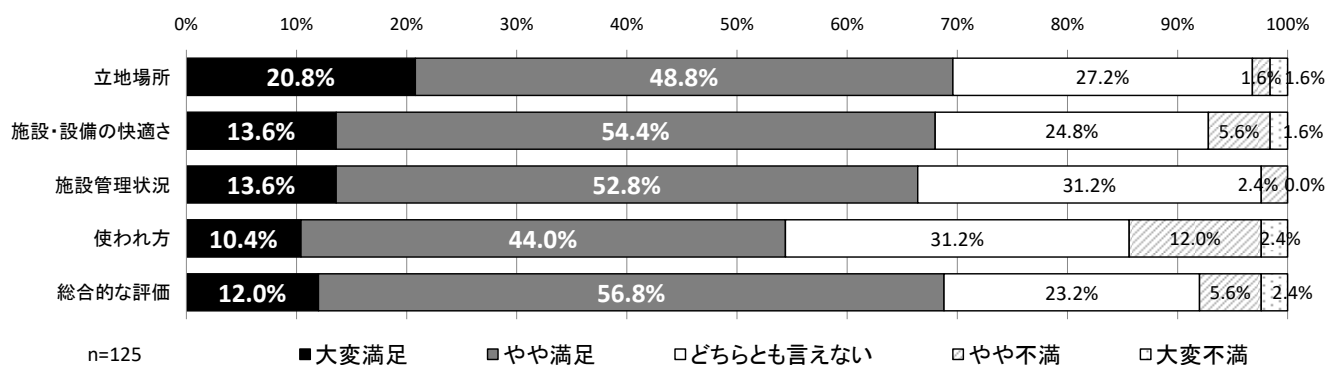


図 3 ミクスタへの満足度（来場経験ありの回答者対象）（2025 年 3 月調査）

この評価についてスコア化<sup>2)</sup>して経年変化をみると、毎年、概ね一致した評価傾向となっているが、2025 年 3 月調査では「使われ方」が過去最高、「総合的な評価」が 2021 年 3 月調査に次ぐ過去 2 番目に高いスコアとなっている（図 4）。「使われ方」として、2024 年 3 月以降にあった変化としては、ギラヴァンツ北九州が 2024 シーズンに好成績を収めたこと、ジャパンラグビー リーグワンの人気チームによる試合が多く観客を集めて開催さ

れたこと（2025 年 1 月）、2025 年 7 月にラグビー日本代表（男女）の公式戦がミクスタで開催されることが 2025 年 2 月に公表され、特に男子に関しては北九州とゆかりの深いウェールズ代表との試合であること等が挙げられる。その要因の明確化は本調査結果からは行うことはできないが、懸案となっている施設の有効利用に対する評価が高まったことに関しては高く評価できよう。

供用開始から 8 年経過してもスタジアムに対する高い満足度を維持していると言え、ミクスタが適切に活用されており、さらに所有者（北九州市）や指定管理者による適切な管理運営が行われていることが 2025 年 3 月調査においても確認された。

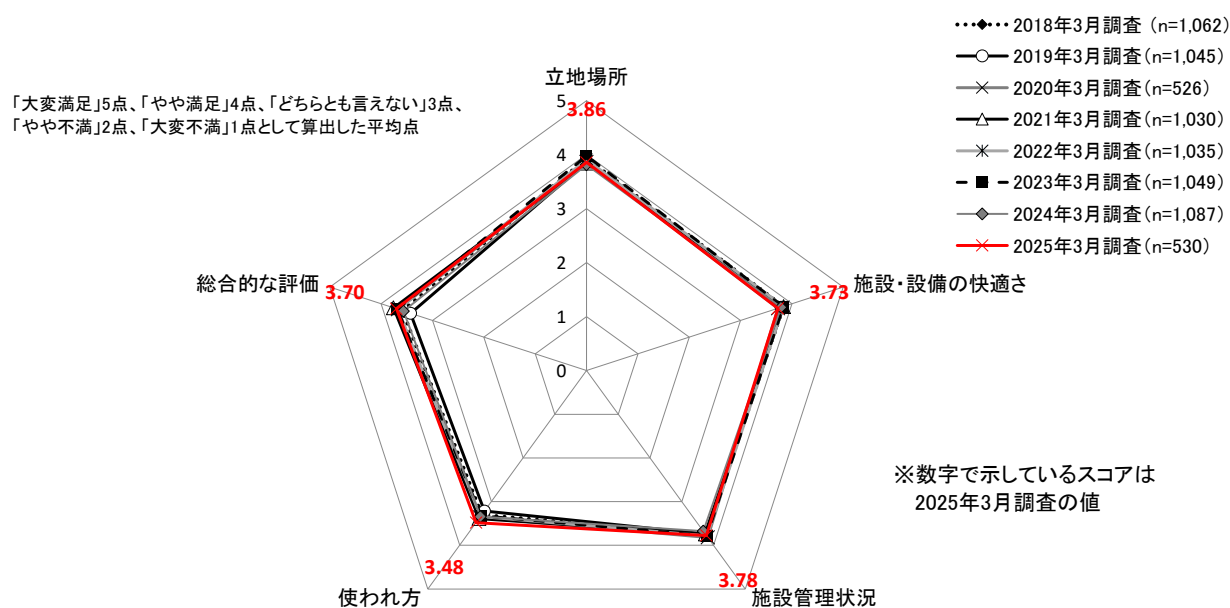


図 4 ミクスタへの満足度（来場経験ありの回答者対象）（経年比較）

### ③ ミクスタで開かれるイベント種類の希望

回答者全体に対し、「あなたは北九州スタジアム（ミクスタ）で開かれるイベント等について、どのような内容のものであれば観戦・利用に訪れたいとお考えですか。当てはまるものをいくつかもお答えください。」として、ミクスタで開かれるイベント種類の希望を尋ねた。本調査項目はミクスタが供用開始された直後の 2017 年 3 月調査から行っており、経年比較した結果を図 5 に示す。

前年調査までは最も多い回答は「アーティストによるコンサート、ライブ」であったが、2025 年 3 月調査においても最も多い回答は「わからない（利用予定なしを含む）」であった。「アーティストによるコンサート、ライブ」は年々減少傾向にある一方、「わからない（利用予定なしを含む）」は増加傾向にある。前述のとおり利用経験ありの市民からのスタジアムへの評価は高いが、市民全体でみるとスタジアムへの関心が薄れている可能性が高く、大きな課題と言える。

その他、回答の多い順に並べると「サッカーJリーグ（ギラヴァンツ北九州など）の試合」、「サッカー日本代表（男子オリンピック代表や、女子代表など）の試合」、「市民が芝生を活用するイベント」、「ラグビー日本代表やオールスター級の試合、あるいはラグビーの国際試合」、「ラグビーの国内リーグの試合」、「様々なスポーツ等のパブリックビューイング」となっており、これらが10～20%程度となっている。うち「市民が芝生を活用するイベント」等については減少傾向が顕著である。南（2024）等での指摘と同様となるが、供用開始後8年が経過したミクスタへの関心を喚起することが必要であり、そのためには継続的に様々なスポーツやイベント誘致の取り組みを進め、市民の多様なニーズに応じていくことが期待される。

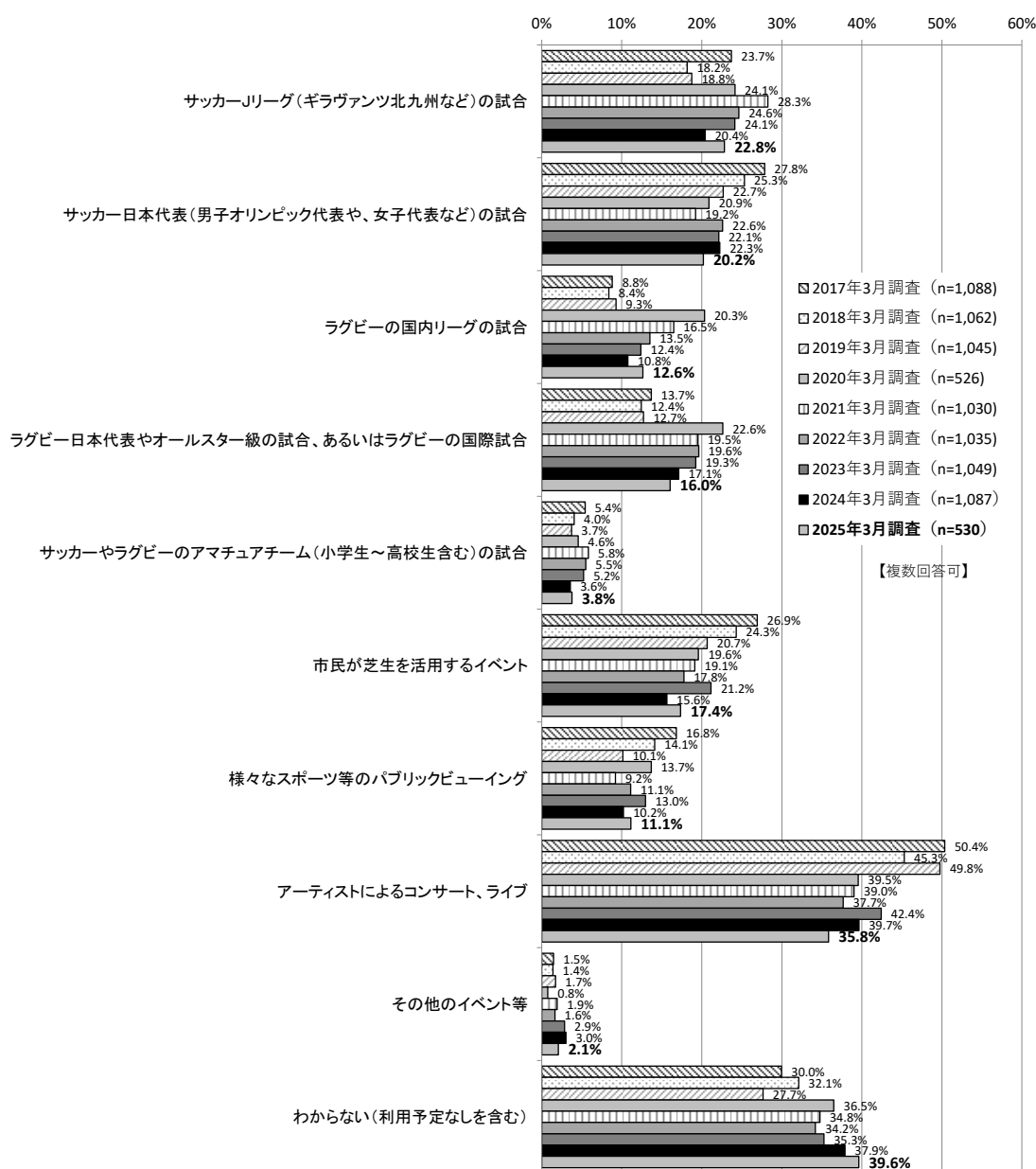


図5 ミクスタで開かれるイベント種類の希望（経年比較）

#### ④ 今後のミクスタへの来場意向

回答者全体に対し、「あなたは今後、北九州スタジアム（ミクスタ）に行きたいと思いますか。最もあてはまる気持ちを一つ選んでください。」として、今後のミクスタへの来場意向を尋ねた<sup>3)</sup>。

2025年3月調査の結果をみると、回答者全体では「ぜひ行きたい」が5.3%、「できれば行きたい」が26.8%となっており、32.1%が来場に肯定的な回答である（図6）。一方で「あまり行きたくない」「全く行きたくない」という否定的な回答は22.1%となっており、「どちらとも言えない」が45.8%となっている。属性別にみると60歳代以上で肯定的な回答が少なくなっている。

経年変化（2021～23年調査においては、コロナの影響を考慮しない場合の来場意向）をみると、「ぜひ行きたい」「できれば行きたい」とする肯定的回答の合計は2024年3月調査とほぼ同じであり、2018年3月以降では最も少ない水準に留まっている（図7）。また来場に否定的な回答が増加している。③で記したとおり、市民全体でみるとスタジアムへの関心が薄れている可能性が高く、市民の来場意欲を高めるべく、様々な利用の促進を一層強化していくことが求められる。

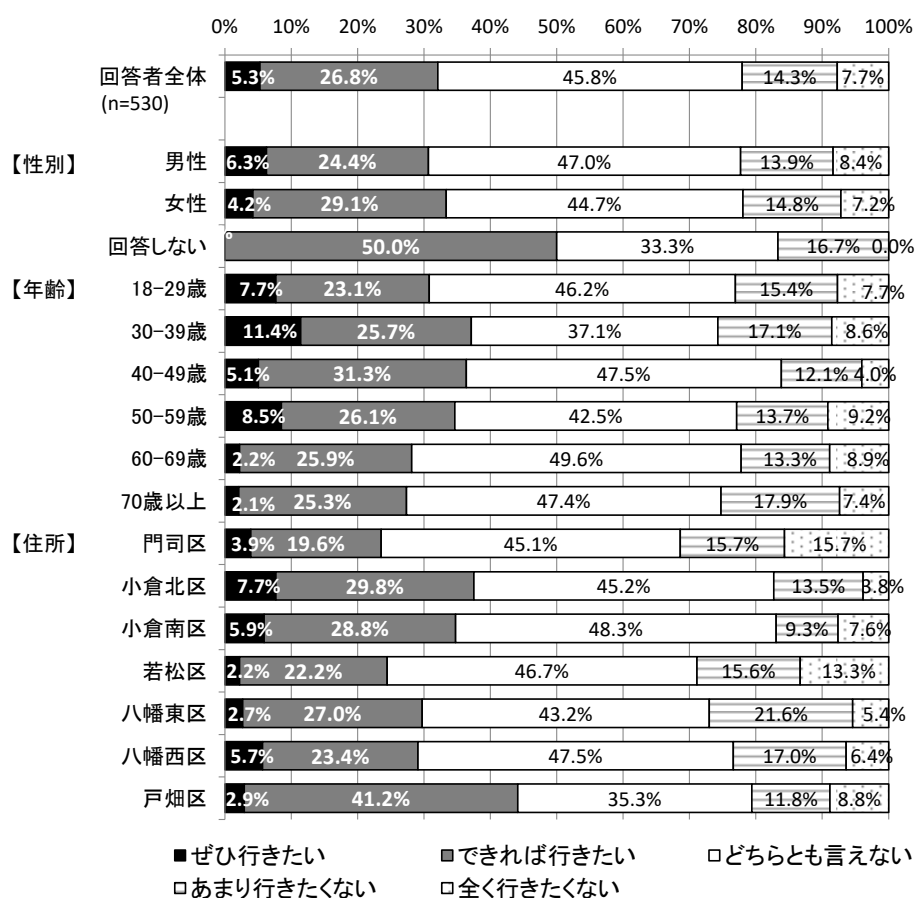
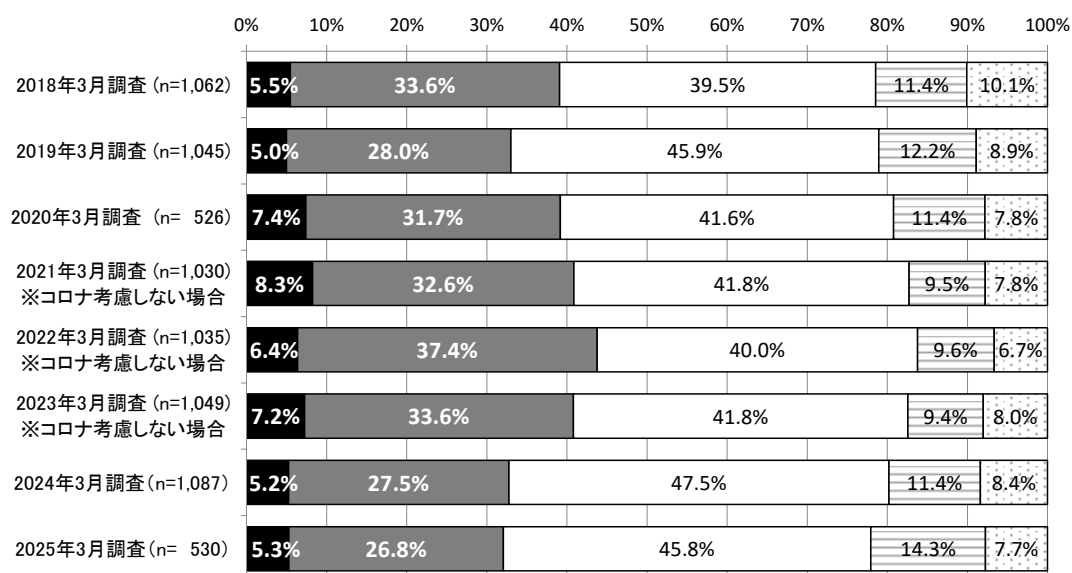


図6 今後のミクスタへの来場意向（2025年3月調査）



■ぜひ行きたい ■できれば行きたい □どちらとも言えない □あまり行きたくない □全く行きたくない

図7 今後のミクスタへの来場意向（経年比較）

## （２）Ｊリーグおよびギラヴァンツ北九州について

### ① 応援しているＪリーグクラブ

次の大問として、Ｊリーグおよびギラヴァンツ北九州に関する問への回答を求めた。最初に回答者全体に対し「あなたは現在、サッカーのＪリーグで応援しているクラブはありますか。応援しているクラブを選んでください。（回答はいくつでも）」として、応援しているＪリーグクラブについて複数回答可能な形で尋ねた。

2025年3月調査におけるクラブ別の詳細をみると、過年度調査と同様「応援しているクラブは無い」が67.4%で最も多く、応援しているクラブの中では「ギラヴァンツ北九州」が突出して多い27.5%、次いで「アビスパ福岡」12.8%となっている（図8）。

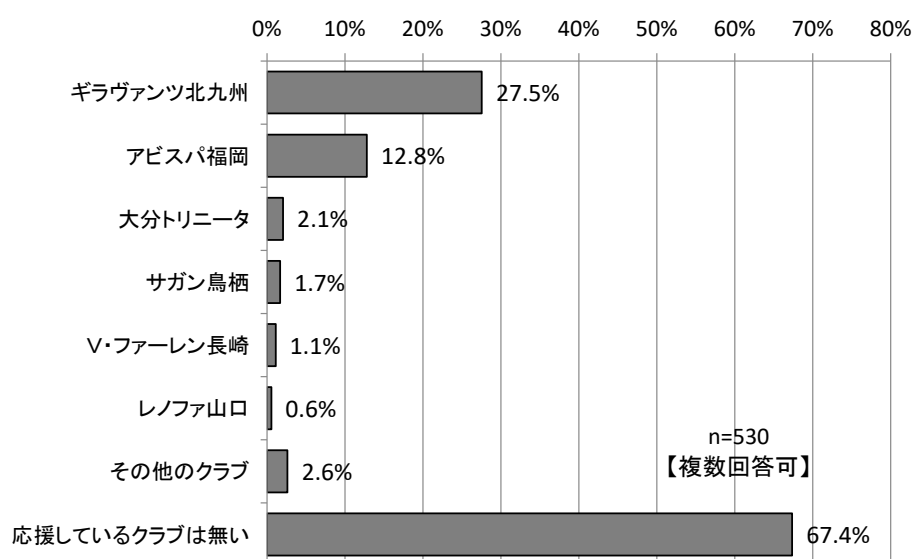


図8 応援しているＪリーグクラブ（2025年3月調査）

応援しているＪリーグクラブについて「ギラヴァンツ北九州」と「応援しているクラブは無い」に絞って経年変化を見た結果を図 9 に示す。ギラヴァンツ北九州を応援すると回答した市民は 2024 年 3 月調査がこれまでに最少となっていたが、2025 年 3 月調査では回復し、2023 年 3 月調査も上回る結果となっている。南（2024）で指摘したとおり、最も低い水準であった 2024 年 3 月調査と 2019 年 3 月調査については、前年のＪリーグのシーズンにおいてギラヴァンツ北九州がＪ３最下位であった。南（2023）で記したように、ミクニワールドスタジアム北九州に本拠地を移した 2017 年以降は前年のチーム成績が好調であれば応援者が増え、前年が不調であれば応援者が減少する傾向がみられる。2025 年 3 月調査の前年となる 2024 シーズンのギラヴァンツ北九州はシーズン最終盤までＪ２昇格に望みを残し、最終的にはＪ３の 7 位であったものの 2023 シーズンと比較すると大きく成績を伸ばした。2025 年 3 月調査で応援する市民の比率が増加していることから、成績と応援者比率について連動性があることが改めて確認できる。

南（2024）では、Ｊ３下位 2 チームについてはＪリーグ会員資格を喪失し、非プロリーグであるＪＦＬに移籍する可能性が生じていることから、「2024 シーズンのギラヴァンツ北九州は、成績面、ファン・サポーターの維持・獲得面、ひいては経営面において正念場を迎えている」と指摘したが、2024 シーズンは様々な面でクラブの努力の成果が実り状況が改善してきていると考えられ、引き続きの取り組みが期待される。

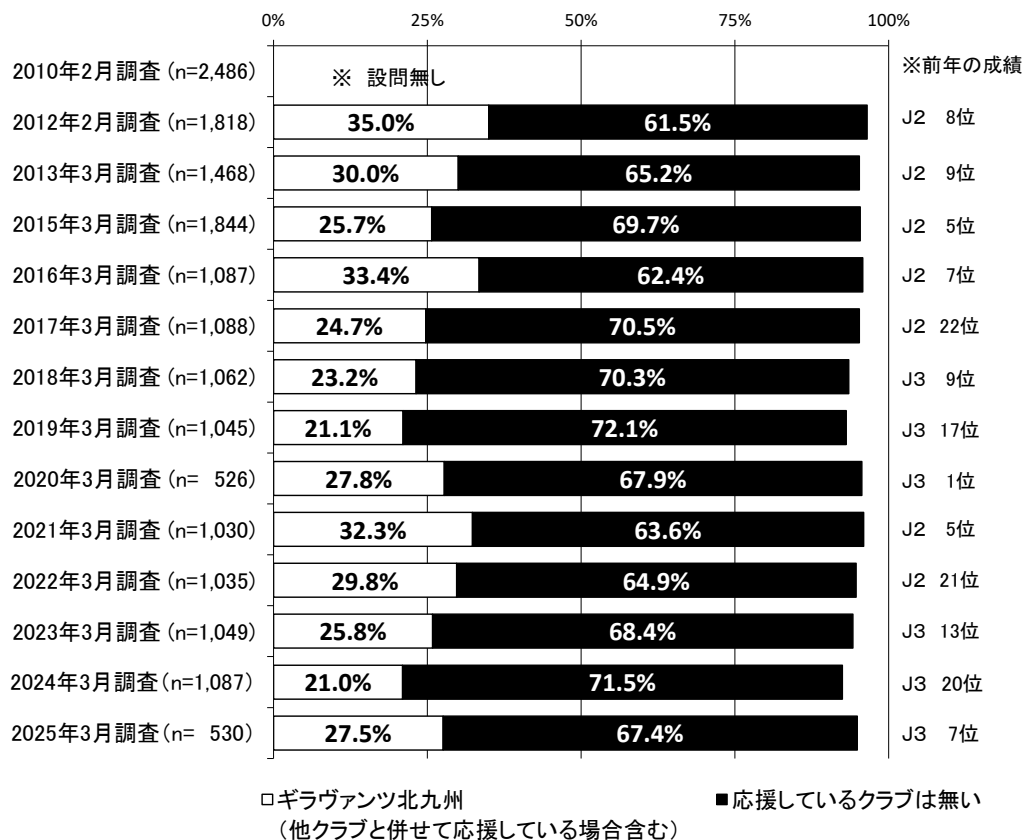


図 9 応援しているＪリーグクラブ（一部抜粋）（経年比較）

## ② ギラヴァンツ北九州（ニューウェーブ北九州含む）の試合のスタジアム観戦経験

①でギラヴァンツ北九州を応援しているとした回答者（n=146）に対し、「あなたは、サッカーのＪリーグの「ギラヴァンツ北九州」（あるいは、その前身のニューウェーブ北九州）の試合をスタジアム（ミクスタのほか、本城陸上競技場なども含む。）で一度でも観戦したことがありますか。」として、ギラヴァンツ北九州の試合のスタジアム観戦経験をたずねた。この設問は 2023 年調査まではギラヴァンツ北九州の存在を認知している回答者を対象としていたが、2024 年調査からは認知度の設問を廃止しギラヴァンツ北九州応援者を対象とした設問に変更した。

2025 年 3 月調査の結果では、ギラヴァンツ北九州応援者のうち「スタジアムで観戦したことがある」が 39.0%となっている（図 10）。北九州市内に在住し、ギラヴァンツ北九州を応援している市民においてもスタジアム観戦経験のない人が多くなっている。

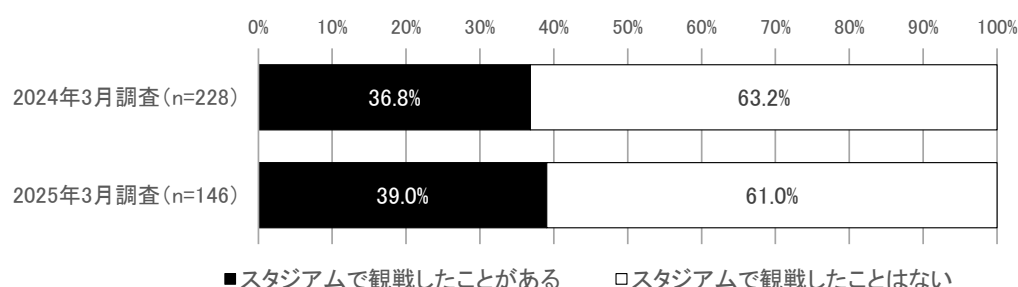


図 10 ギラヴァンツ北九州の試合のスタジアム観戦経験（経年変化）

## ③ 今後のギラヴァンツ北九州の試合をミクスタで観戦する意向

回答者全体に対し「あなたは今後（2025 年 3 月以降）、ギラヴァンツ北九州の試合を北九州スタジアム（ミクスタ）で観戦することについて、どのようにお考えですか。お気持ちに当てはまるものをお答えください。」として、ギラヴァンツ北九州の試合のスタジアム観戦意向を尋ねた。

2025 年 3 月調査の回答者全体でみると、「ぜひスタジアムで観戦したい」は 8.1%、「きっかけがあればスタジアムで観戦するかもしれない」は 32.1%、「今のところはスタジアムで観戦するつもりはない」は 59.8%であった（図 11）。属性別にみると、若い世代になるほど「ぜひスタジアムで観戦したい」とする回答が多い傾向にある。居住区ごとではミクスタに比較的近い市東部の方が観戦意欲が高い傾向がみられる。

経年変化をみると、「ぜひスタジアムで観戦したい」とする回答者は 2022 年 3 月調査以降は減少傾向にあり、2025 年 3 月調査においてもその傾向に変化はなく、「今のところはスタジアムで観戦するつもりはない」が過去最多となっている（図 12）。前年のギラヴァンツ北九州の成績が良いと応援する市民の数は増えるものの、観戦行動に繋がる市民の数は増えていない点は重要である。チーム成績向上以外にも社会貢献活動等を充実させる等、市民に親しまれるための活動や広報活動がより一層重要となっている可能性がある。

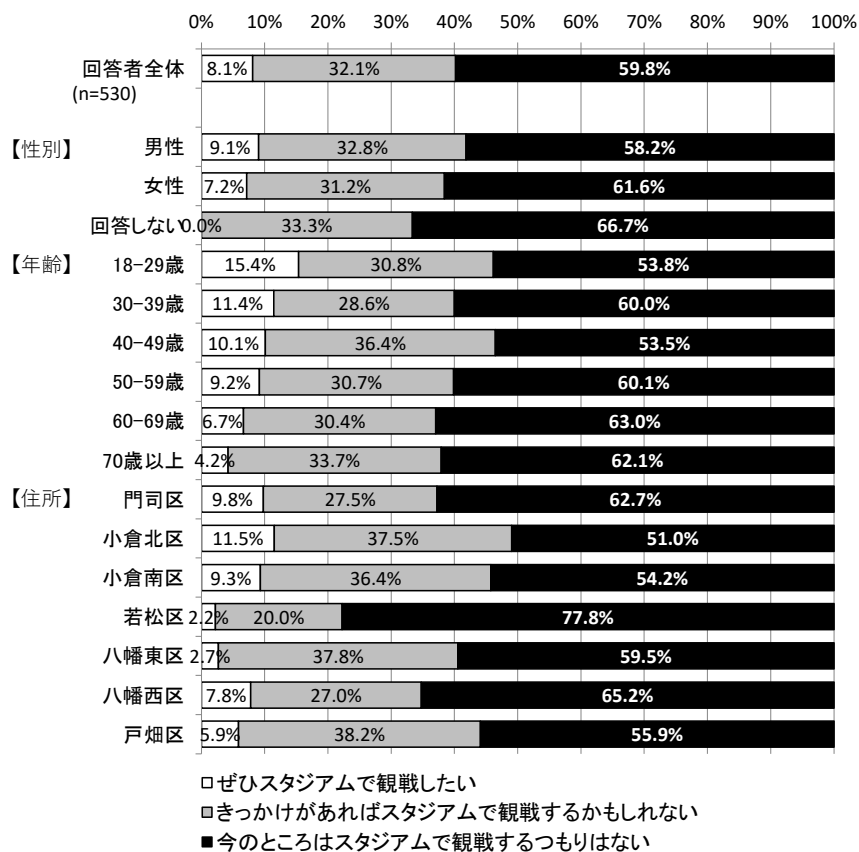


図 11 今後のギラヴァンツ北九州の試合をミクスタで観戦する意向（2025年3月調査）

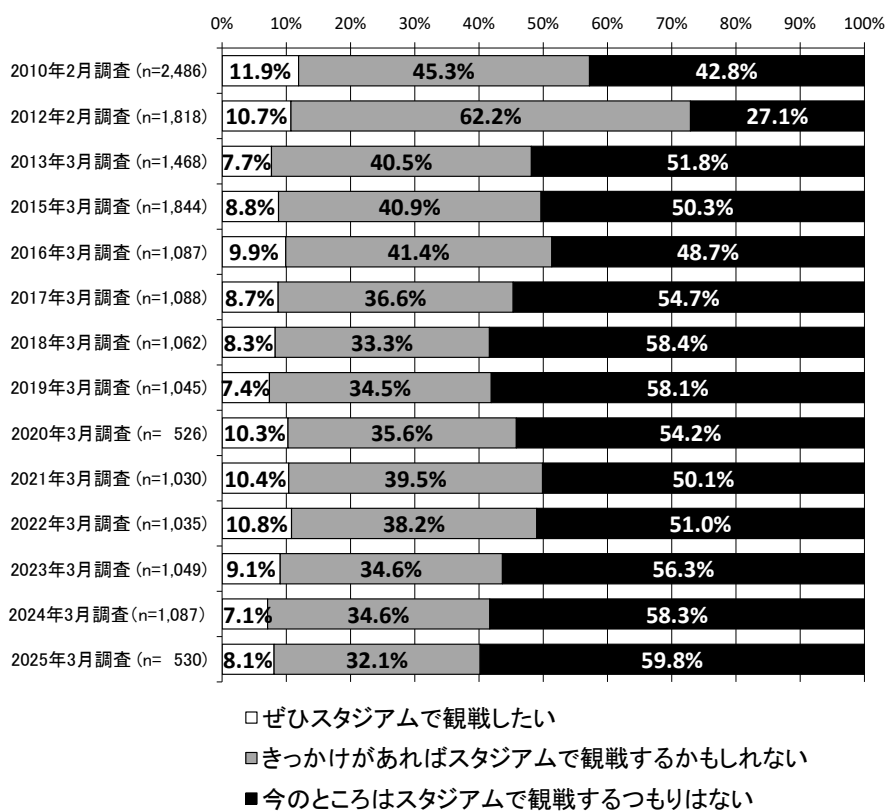


図 12 今後のギラヴァンツ北九州の試合をミクスタで観戦する意向（経年比較）

#### ④ ギラヴァンツ北九州の試合を観戦するつもりのない理由

③で「今のところはスタジアムで観戦するつもりはない」とした回答者（n=317）に対し、『今のところはスタジアムで観戦するつもりはない』と考える理由について、主なものを3つまで選んでください。（回答は3つまで）として理由を尋ねた。

過年度同様、「サッカーに関心がないから」が53.6%で突出して多い（図13）。次いで「特に理由はない」、「ギラヴァンツ北九州の選手のことをよく知らないから」、「サッカーには関心はあるが、J3に関心がないから」となっている。「ギラヴァンツ北九州は弱いと思うから」については2024年3月調査と比較すると減少しており、回答者の中にはギラヴァンツ北九州の成績自体は認識している人もいると考えられる。南（2022a）等で指摘したように、チーム成績の不振は観戦意向の低い市民を一層スタジアムから遠ざけることにつながっている可能性は高いが、J3内での善戦ではこうした市民のスタジアムへの来場意欲を喚起するには至らない可能性もある。ギラヴァンツを既に応援している人々への浸透を深めるのみならず、関心の低い市民にどのように効果的にアプローチしていくかが、ギラヴァンツ北九州やそれを支える地域にとって引き続き大きな課題である。

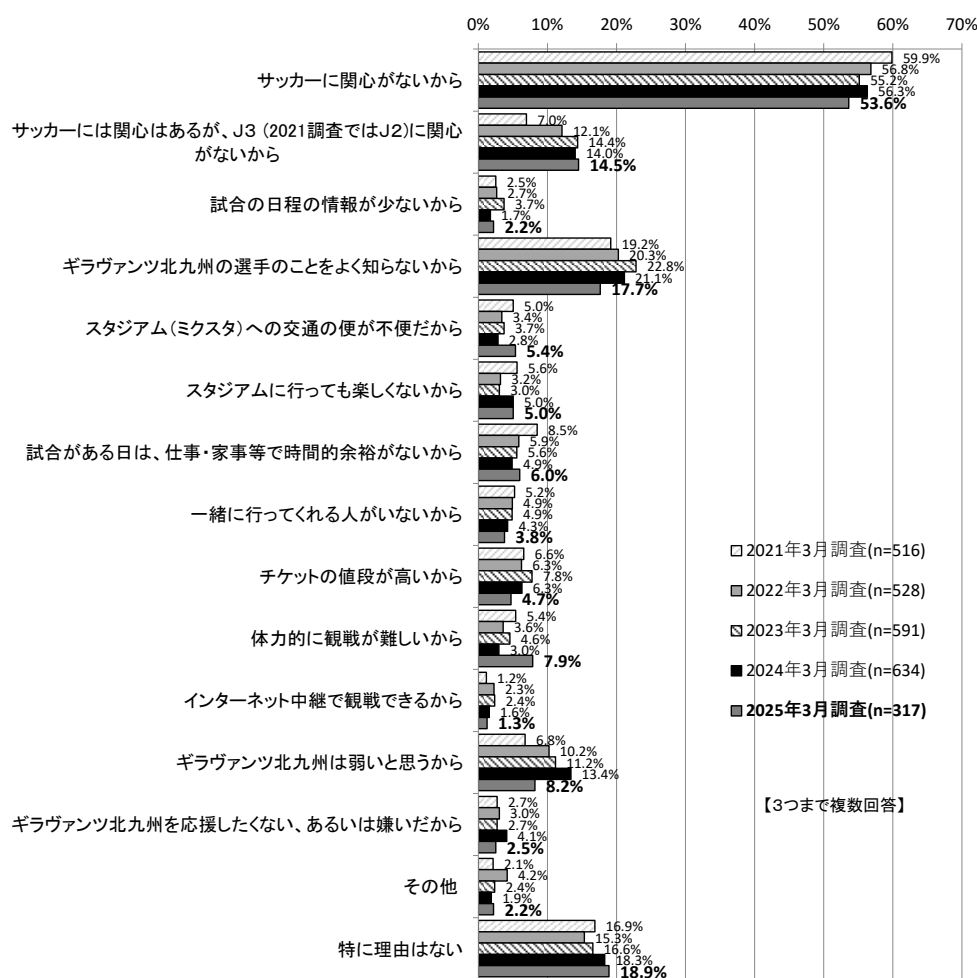


図13 ギラヴァンツ北九州の試合を観戦するつもりのない理由（経年比較）

## ⑤ ギラヴァンツ北九州に対する愛着

回答者全体に対し、「あなたは、ギラヴァンツ北九州に対して「愛着」を感じますか。（回答は1つ）」として、ギラヴァンツ北九州に対する愛着をたずねた。

2025年3月調査の回答者全体をみると、「大いに感じる」は5.1%にとどまり、「やや感じる」の32.8%を加えても、愛着があるとする回答は市民の3分の1程度である（図14）。経年変化をみると、愛着を「大いに感じる」と「やや感じる」の合計は減少局面となっている。基本的に前年のチーム成績を反映している傾向が見られ、2024シーズンのJ3・7位という成績はギラヴァンツに関心のある市民にとっては好成績であるものの、関心の薄い市民にとっては、そもそも順位が知られていなかったり、好成績とは評価されていなかったりする可能性がある。基本的にはチーム成績によらず市民に愛着を持ってもらえるクラブを目指すべきであるが、現状として愛着を感じる市民が半数に満たず、かつ減少傾向にあることはギラヴァンツ北九州にとって大きな課題であり、これまで以上の社会貢献活動や愛着をもってもらえるような活動が求められよう。

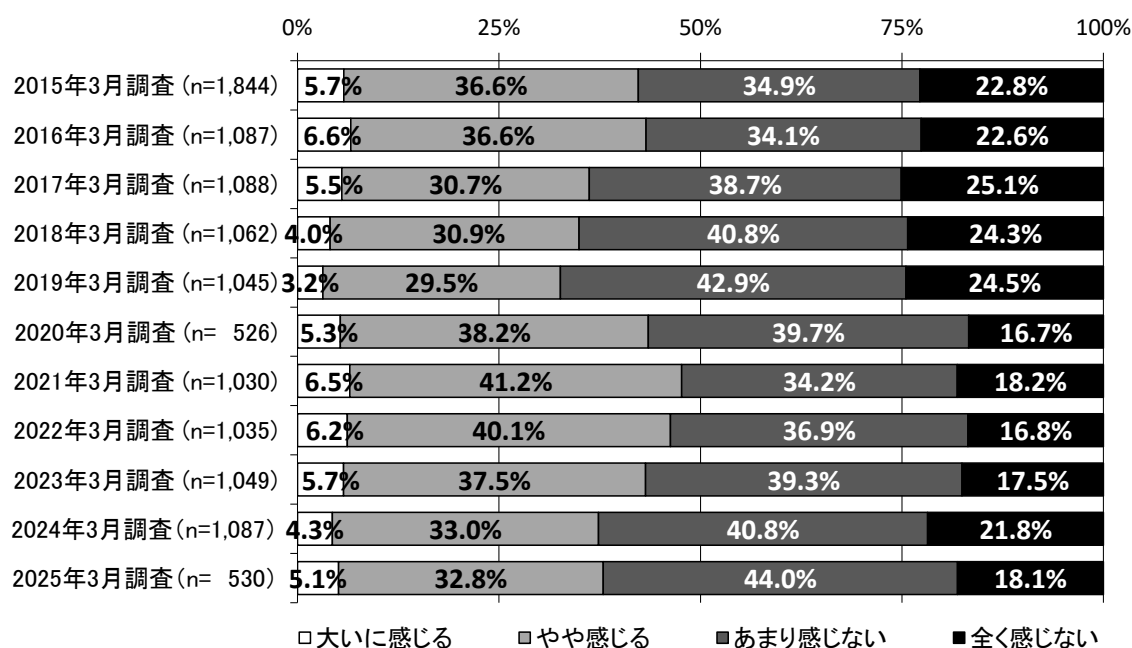


図14 ギラヴァンツ北九州に対する愛着（経年比較）

## （3）「みるスポーツ」を中心とした、スポーツ関連のその他のことについて

### ① 北九州市等で活動している主なスポーツチームの認知・観戦状況

回答者全体に「あなたは、北九州市や周辺で活動している、以下のチームやクラブについて御存知ですか。それぞれ一つ選んでください。」として、北九州市等で活動している主な5つのスポーツチームの認知・観戦状況について尋ねた。回答者全体でみた結果を図15に示す。

2024年3月調査と同様、プロ野球（NPB）の福岡ソフトバンクホークス、サッカーJ

リーグのギラヴァンツ北九州は 90%以上の認知度があり、特に福岡ソフトバンクホークスについては 69.8%が観戦経験（テレビ・ネット配信含む）ありと回答しており、突出して多くなっている。北九州下関フェニックス（野球の九州アジアリーグ）については認知度が 50%を超えており、2022 年から実質的な活動を行っている新しいチームとしては特筆できる。フットサル F リーグのボルクバレット北九州、女子ソフトボール J D リーグのタカギ北九州ウォーターウェーブについては認知度が 20～30%台となっている。

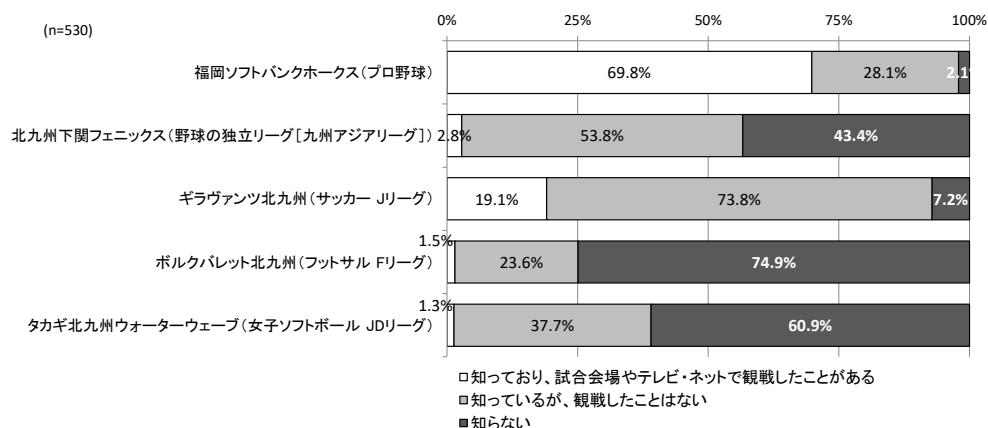


図 15 北九州市等で活動している主なチームの認知・観戦状況（2025 年 3 月調査）

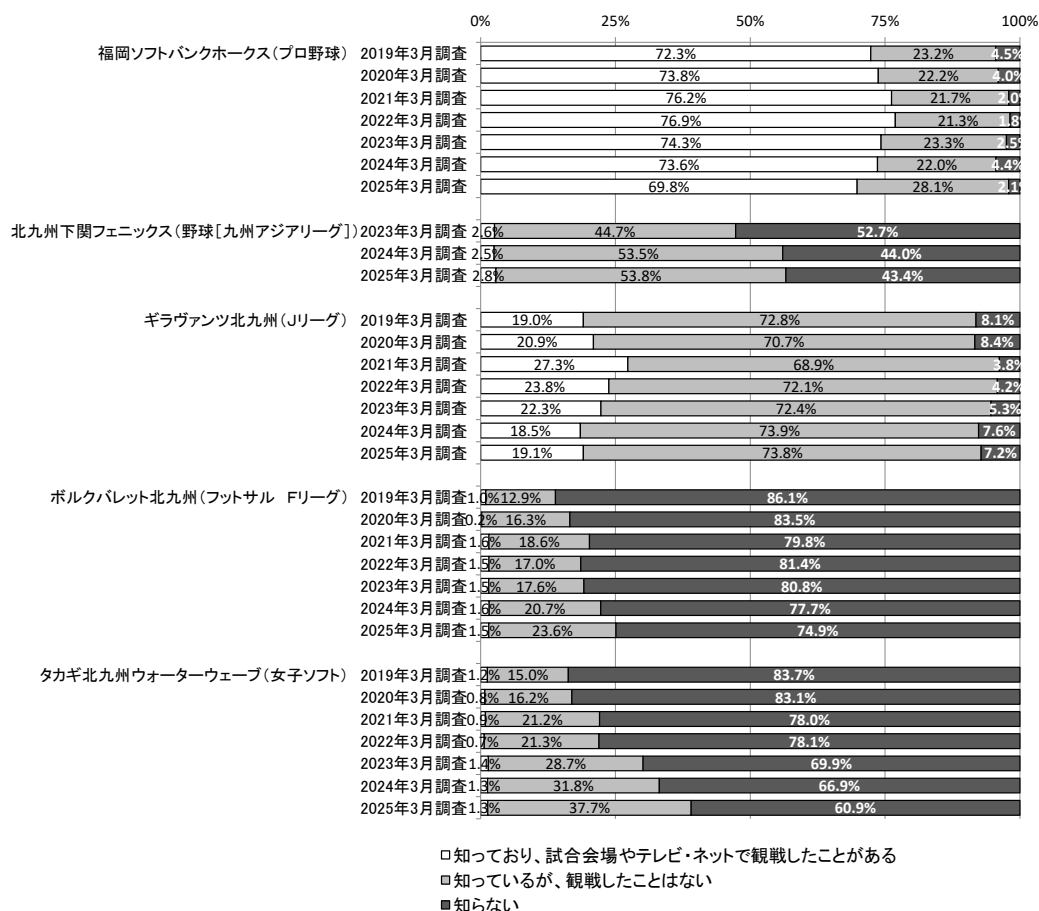


図 16 北九州市等で活動している主なチームの認知・観戦状況（経年比較）

経年変化をみると（図 16）、認知度が高い福岡ソフトバンクホークス、ギラヴァンツ北九州については大きな変化は無い。北九州下関フェニックス、ボルクバレット北九州、タカギ北九州ウォーターウェーブはいずれも認知度は上昇傾向にあるものの、観戦経験については横ばいとなっている。認知度の上昇については、タカギ北九州ウォーターウェーブが最も進んでいると考えられる。2022 年 10 月に発足した「北九州市プロスポーツチーム等連絡会議」（北九州市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と北九州市で構成）において、連携した情報発信や地域活動等が行われている成果が表れている可能性がある。今後もこうした活動は有効と考えられる。ただし、認知度は向上しているもののスタジアムや体育館での観戦意欲には結び付いていない可能性が高い点は課題と言えよう。

## ② 北九州市等で活動している主なスポーツチームの試合の観戦意向

①の 5 チームに関し、「あなたは、各スポーツチームの試合の観戦を行いたいですか。最も近い気持ちを、それぞれ一つ選んでください。」として試合の観戦意向について尋ねた。

「スタジアムや体育館で観戦したい」については、福岡ソフトバンクホークスは 37.2% で特に多く、次いでギラヴァンツ北九州の 16.4% となっている（図 17）。次いでタカギ北九州ウォーターウェーブと北九州下関フェニックスが 8% 台で並んでおり、ボルクバレット北九州は 4.5% となっている。

経年変化をみると（図 18）、各チームとも「スタジアムや体育館で観戦したい」とする回答が減少傾向または横ばい傾向にある。①で記したように各チームとも認知度は上昇傾向にあり、またコロナ禍の影響がほとんど意識されなくなったにも関わらず現地観戦の意向が伸びていないことは、各チームにとって大きな課題と言えよう。

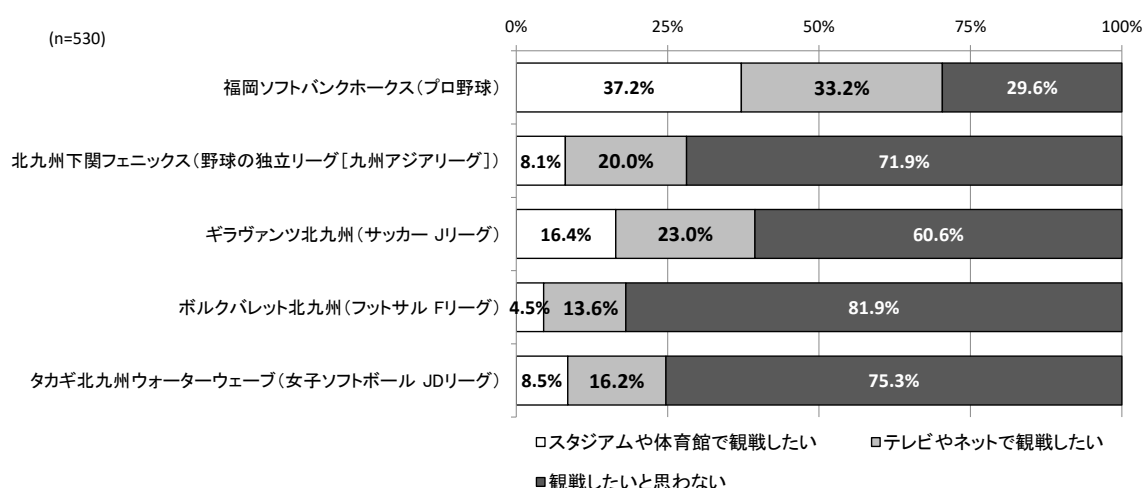


図 17 北九州市等で活動している主なチームの試合の観戦意向（2025 年 3 月調査）

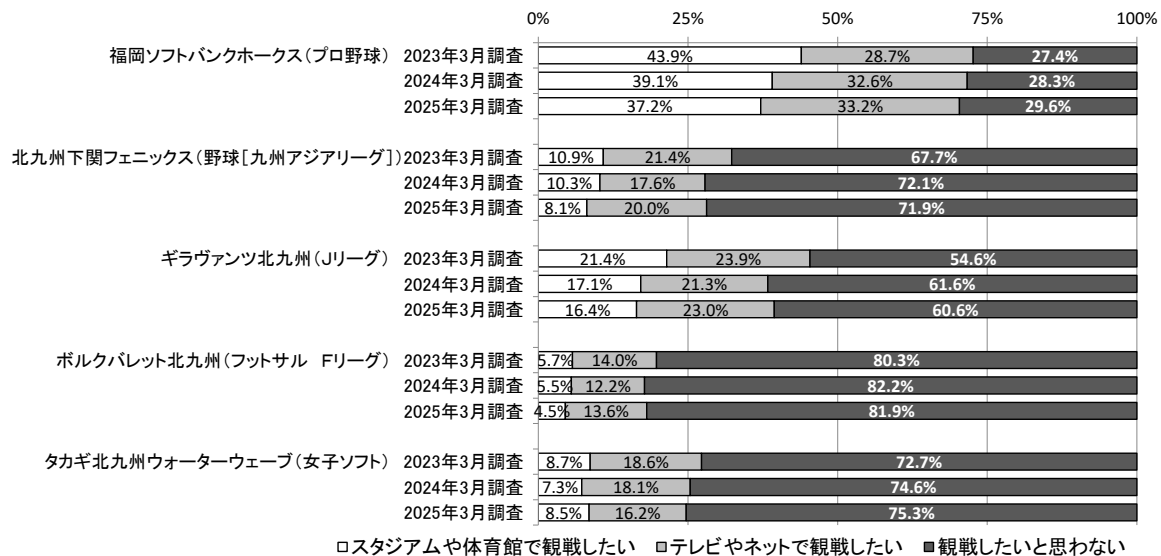


図 18 北九州市等で活動している主なチームの試合の観戦意向（経年比較）

### ③ 国際スポーツ大会、外国選手団キャンプ誘致の意義

回答者全体に対し「北九州市内では、様々な国際スポーツ大会の開催や、外国選手団のキャンプ誘致などに取り組んでいます。あなたはこうした取り組みについてどのようにお考えになりますか。最もあてはまるものを一つ選んでください。」として、国際スポーツ大会、外国選手団キャンプ誘致の意義について尋ねた。回答者全体でみた経年変化の結果を図 19 に示す。

2025 年 3 月調査においては「とても意義のあることと考える」が 19.6%、「ある程度意義のあることと考える」が 43.0%であり、合計すると 60%以上が肯定的な回答であり、否定的な回答は 10%を下回っている。2024 年はサッカーU-23 日本代表 vsU-23 ウクライナ代表、バレーボールネーションズリーグ 2024 福岡大会、パルクール世界選手権・北九州、

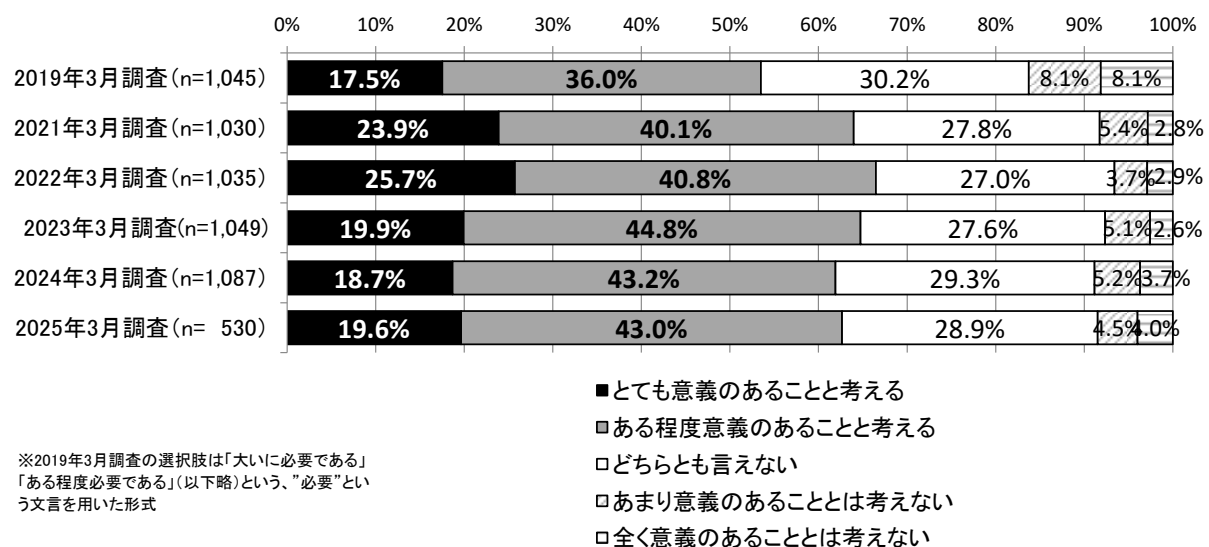


図 19 国際スポーツ大会、外国選手団キャンプ誘致の意義（経年比較）

卓球の WTT ファイナルズ福岡 2024 などが開催され、こうした北九州市が取り組んでいる国際スポーツ大会誘致については多くの市民から意義を認められていると言えよう。

経年変化をみても、ラグビーワールドカップ 2019 ウェールズ代表キャンプ、2021 世界体操・新体操選手権北九州大会といった特に話題となった国際スポーツ大会等以降は肯定的な回答がやや減少傾向にあったが、2025 年 3 月調査では上向きに転じている。南（2023）等で指摘しているように、今後も引き続き北九州市への誘致活動に取り組むとともに、国際文化交流や産業面への波及なども含めて具体的な意義を分かりやすく市民に提示し、また実際の開催効果を持続的に発揮していく取り組みを行うことで市民の理解度は高まっていくことが予想され、実際の地域活性化効果が生まれていくことも期待される。

#### （４）文化芸術や各種イベントのことについて

2024 年 3 月調査から本研究においては文化芸術の鑑賞行動（特に、現地で直接鑑賞すること）の実態把握や今後の意向等に関する設問を追加した。2025 年 3 月調査においても同様の問を設け、また比較対象とする文化庁「文化に関する世論調査」については 2024 年 3 月に文化庁が公表したものに更新し、北九州市における文化芸術の鑑賞に関する考察を行った。

##### ① １年間に直接鑑賞した文化芸術分野

「昨年（2024 年）1 年間に、あなたが直接鑑賞した文化芸術分野について選択してください。なお、「直接鑑賞」とは現地や映画館、ホールなどに行って鑑賞したものを指します。テレビ、ラジオ、CD・DVD、ネット配信（リアルタイム・オンデマンド）での視聴は除きます。」として、21 分野および「観賞したものはなし／わからない」を加えた 22 の選択肢から回答を求めた。この設問および選択肢については、文化庁が実施している「文化に関する世論調査」とほぼ同様のものとした。その理由は、全国的な文化芸術関連の市民の行動実態と北九州市民の行動実態を比較することにより、北九州市民のおかれた状況を把握するためである。なお、選択肢について文化庁調査の選択肢に加え北九州市でのイベント開催実績を勘案し「アニメ・マンガなどポップカルチャー系イベント」および「ファッションショーなど服飾系のイベント」の 2 分野を追加するなど、若干の相違はある。

2025 年 3 月調査の回答者全体の結果を図 20 に示す。最も多いのは「観賞したものはなし／わからない」の 40.9%である。行った鑑賞分野として最も多いのは「映画（アニメーション映画を除く）」の 33.4%、次いで「歴史的な建物や遺跡（社寺・城郭等、遺跡、名勝地（庭園など）などの文化財）」22.5%、「美術（絵画、版画、彫刻、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」19.2%、「アニメーション映画」14.2%、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」12.3%、「歴史系・民俗系の博物館、資料館など」11.7%となっており、これら 5 分野については 10%以上の市民が直接鑑賞しており、この結果は 2024 年 3 月調査とほぼ同様である。

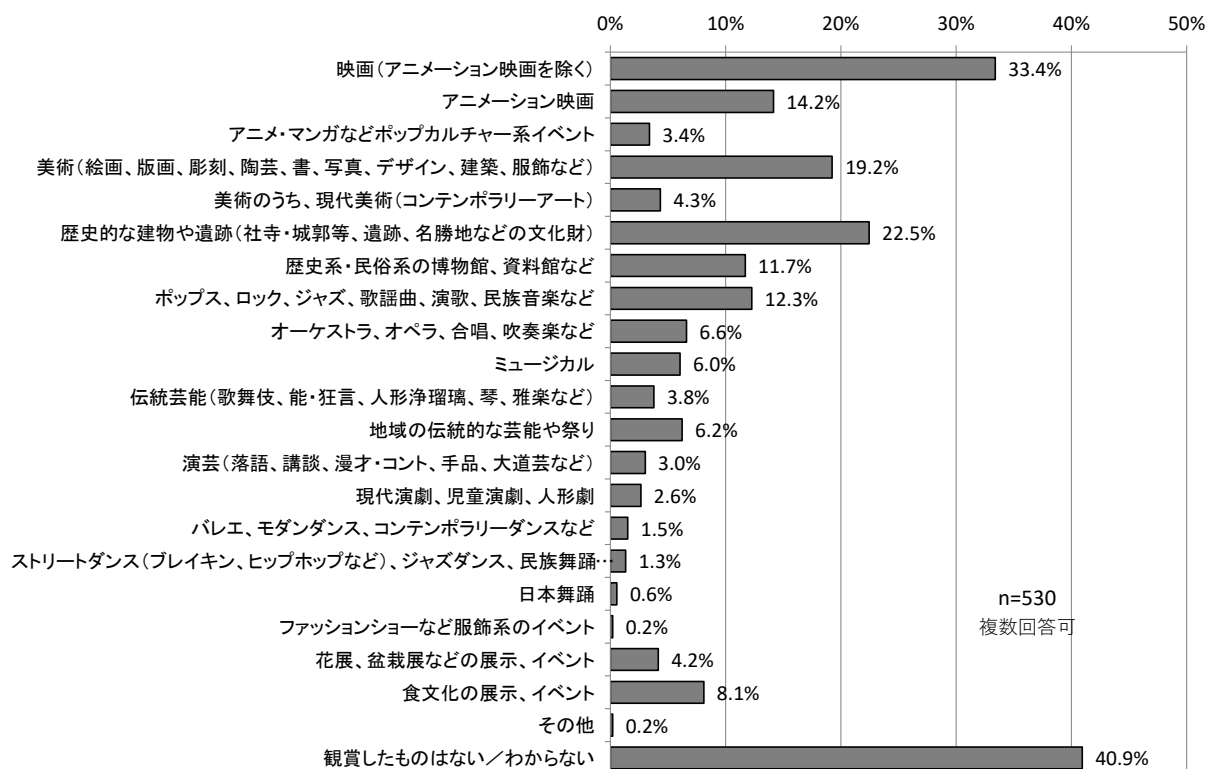


図 20 2024 年の 1 年間に直接鑑賞した文化芸術分野 (2025 年 3 月調査)

文化庁「文化に関する世論調査」との比較に関しては、本研究の 2024 年 3 月調査では文化庁が 2023 年 1 月に全国を対象に実施した「文化に関する世論調査」(n=3,000)と比較したが、本報告においては文化庁が 2024 年 1～2 月に実施した「文化に関する世論調査」(n=24,996)と比較する。本研究および文化庁調査とも 1 年間における鑑賞行動の回答を求めているが、文化庁調査は 2023 年の 1 年間を対象としており、同様の期間を対象とする本研究は 2024 年 3 月調査となる。本研究の 2025 年 3 月調査では 2024 年の行動を質問している点には留意が必要である。

まず、北九州市を対象とする本研究の 2024 年 3 月調査と 2025 年 3 月調査を比較すると、前述のとおり鑑賞率の高い分野の順番についてはほぼ変化はないが、「アニメーション映画」、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」、「アニメ・マンガなどポップカルチャー系イベント」については 2025 年 3 月調査において鑑賞率が比較的大きく低下している。一方、鑑賞率が増加しているものとしては「地域の伝統的な芸能や祭り」が挙げられる。

文化庁調査との比較について、調査対象時期が一致する文化庁 2024 年 1 月調査と本研究の 2024 年 3 月調査を比較すると、鑑賞率の高い分野の傾向は類似しており、鑑賞率については「映画 (アニメーション映画を除く)」をはじめ全体的に北九州市民の方が鑑賞率が高い傾向にあるとともに、「観賞したものはない／わからない」は北九州市民の方が大幅

に低くなっている。これは、北九州市民の鑑賞機会の多さ、文化芸術の各分野への関心の高さを表していると考えられる。全国を対象とした文化庁調査と比較して鑑賞率が低い分野としては「オーケストラ、オペラ、合唱、吹奏楽など」が挙げられる。文化庁 2024 年 1 月調査と本研究の 2025 年 3 月調査の結果を比較してもほぼ同様であるが、全国調査と同程度あるいはそれを下回る分野として、「オーケストラ、オペラ、合唱、吹奏楽など」のほか「演芸（落語、講談、漫才・コント、手品、大道芸など）」、「バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど」、「ストリートダンス（ブレイキン、ヒップホップなど）、ジャズダンス、民族舞踊（フラダンスなど）、社交ダンス」、「日本舞踊」が挙げられる。これらはいずれも鑑賞率自体が少なく、調査によるブレも起きやすい分野と考えられるが、いずれも全国と比較し大幅に鑑賞率が低いものではなく、全国並みと言える状況であり、特に大きな課題とは言えない。

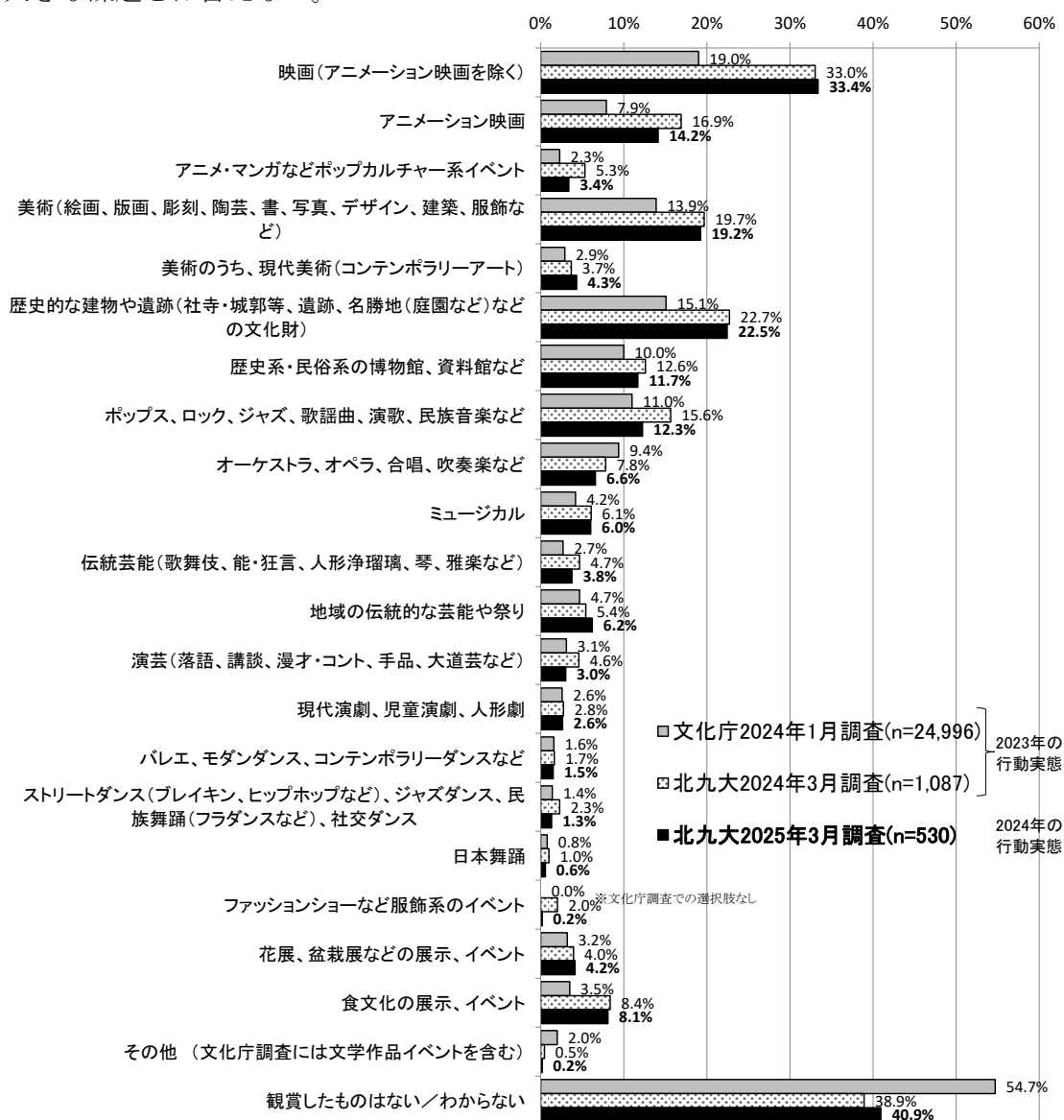


図 21 1 年間に直接鑑賞した文化芸術分野（文化庁による全国調査との比較）

## ② 1年間に行った文化芸術の直接鑑賞の場所

①でいずれかの分野の文化芸術の直接鑑賞を行った回答者（n=313）に対し、「2024 年に行った文化芸術の直接鑑賞の場所について当てはまるものを全て選んでください」と尋ねた結果を図 22 に示す。

60.4%が「北九州市内」と回答しており、北九州市においても鑑賞機会がある程度充実していることが確認できる。また 29.7%が「福岡市内」と回答している。これらについては 2024 年 3 月調査とほぼ同じ値となっている。「北九州市と福岡市を除く福岡県内」と「福岡県外」については 2023 年を調査対象とした 2024 年調査よりも 2024 年を対象とした 2025 年調査の方が増加しており、これは北九州市の広域的なアクセスの良さを表しているとともに、コロナ禍の社会的影響が 2024 年にはほぼ意識されなくなり、市民の行動範囲が広がった可能性がある。

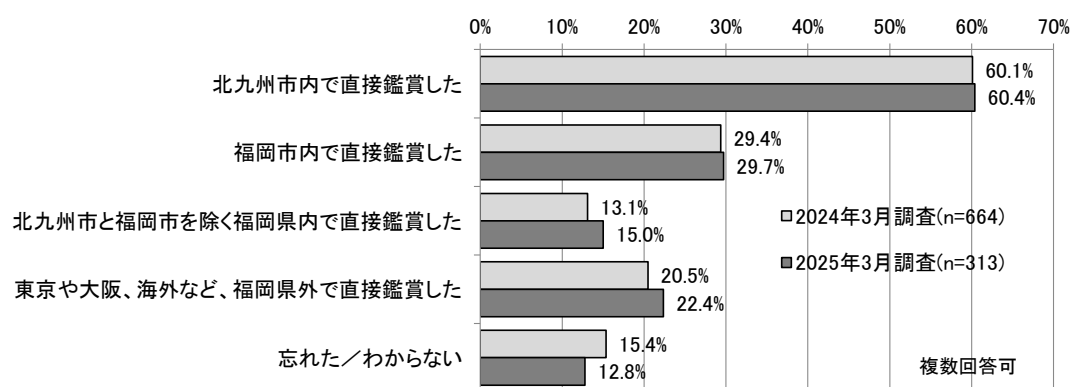


図 22 1年間に行った文化芸術の直接鑑賞の場所（経年比較）

## ③ 北九州市の文化的な環境に対する満足度

回答者全体に対し、「あなたは北九州市の文化的な環境について、満足していますか。最もあてはまるものをそれぞれ一つ選んでください」として、文化芸術の鑑賞機会、文化芸術活動の実践、文化財や伝統的まちなみの保存・整備、文化的環境の総合的な満足度の 4 つについて尋ねた。この設問および選択肢は、文化庁「文化に関する世論調査」と比較するため、整合させた。なお、文化庁調査においては「北九州市の文化的な環境」ではなく、「お住まいの地域での文化的な環境」への満足度を尋ねる設問となっている。

本研究の 2025 年 3 月調査の結果を図 23 に示す。「文化芸術の鑑賞機会」、「文化財や伝統的まちなみの保存・整備」、「文化的環境の総合的な満足度」については、「満足している」「どちらかといえば満足している」の肯定的な回答がいずれも 40%程度となっている。否定的な回答はいずれも 25～30%程度となっており、肯定的な回答の方が多い。「文化芸術活動の実践（創作や習い事、祭りや体験活動への参加など、自分で活動する機会）」については、肯定的な回答が約 30%であり、他項目より低くなっている。ただしこの項目についても否定的な回答よりも肯定的な回答の方が多くなっている。なお、各項目とも「関心が

ない」とする回答が 30～45%程度とかなり多くなっており、文化芸術の各機会等への関心の低い市民は比較的多いと言えよう。

本研究（2024 年および 2025 年調査）と文化庁調査の結果を比較したものを図 24 に示す。「文化芸術活動の実践」のみ、全国の方がやや肯定的回答の比率が高く、他項目については北九州市民を対象とした本調査の方が肯定的な回答が高い傾向にあり、北九州市におけるこれらの環境が充実していると言える。また、3 分野については本研究の 2024 年 3 月調査より 2025 年 3 月調査の方が肯定的回答が増加している傾向があり、北九州市における文化芸術分野については市民からの評価が高まる傾向にあると考えられる。

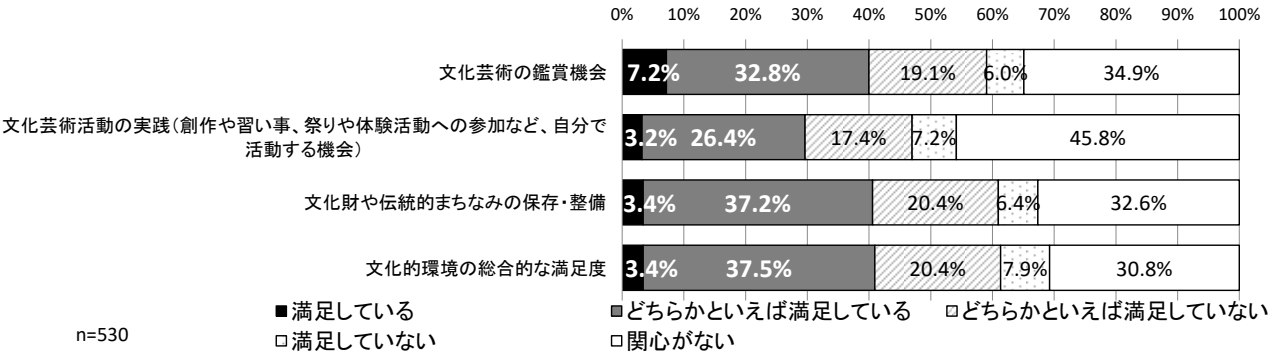


図 23 北九州市の文化的な環境に対する満足度（2025 年 3 月調査）

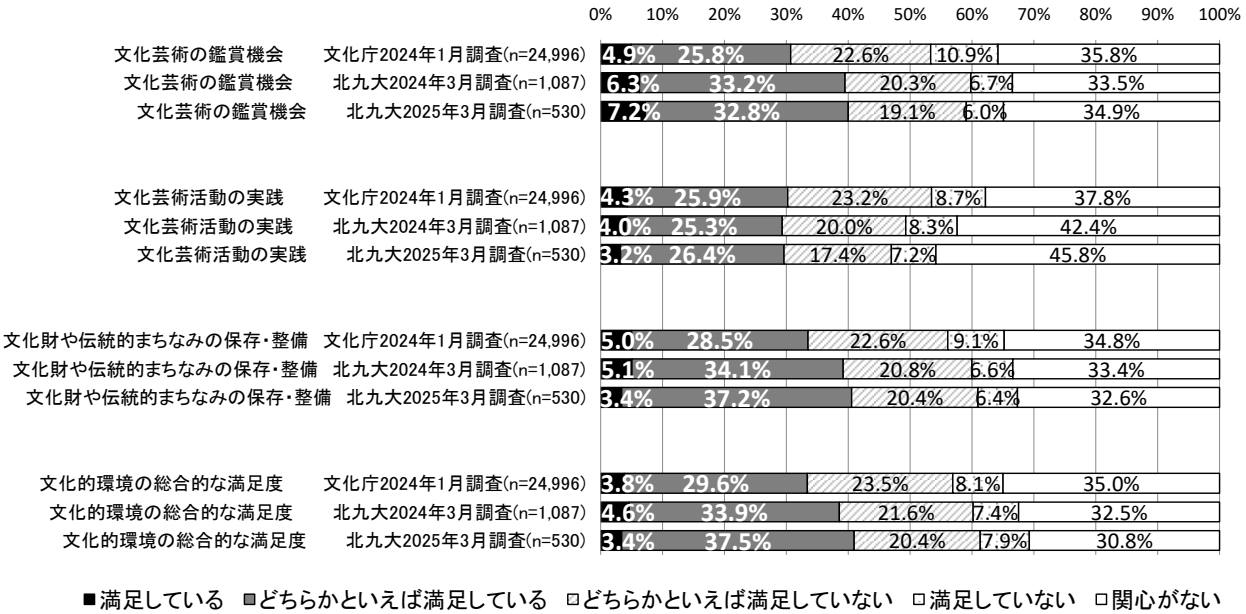


図 24 住んでいる地域の文化的な環境に対する満足度（文化庁による全国調査との比較）

#### ④ 北九州市内で直接鑑賞できる機会が増えてほしい文化芸術分野

回答者全体に「今後、北九州市内で直接鑑賞できる機会が増えてほしいとあなたが思う文化芸術分野について選択してください。」と尋ねた結果を図 25 に示す。選択肢となる文化芸術分野については、①と同様としている。

回答率が 20%を上回っているのは、2024 年 3 月調査、2025 年 3 月調査とも「映画（アニメーション映画を除く）」、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」、「美術（絵画、版画、彫刻、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」、「歴史的な建物や遺跡（社寺・城郭等、遺跡、名勝地（庭園など）などの文化財）」、「食文化の展示、イベント」、「ミュージカル」の 6 分野である。多様な分野に多くの市民の関心が広がっているとえよう。2025 年 3 月調査で増加が目立つのは「美術（絵画、版画、彫刻、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」、「歴史的な建物や遺跡（社寺・城郭等、遺跡、名勝地（庭園など）などの文化財）」、「美術のうち、現代美術（コンテンポラリーアート）」となっている。

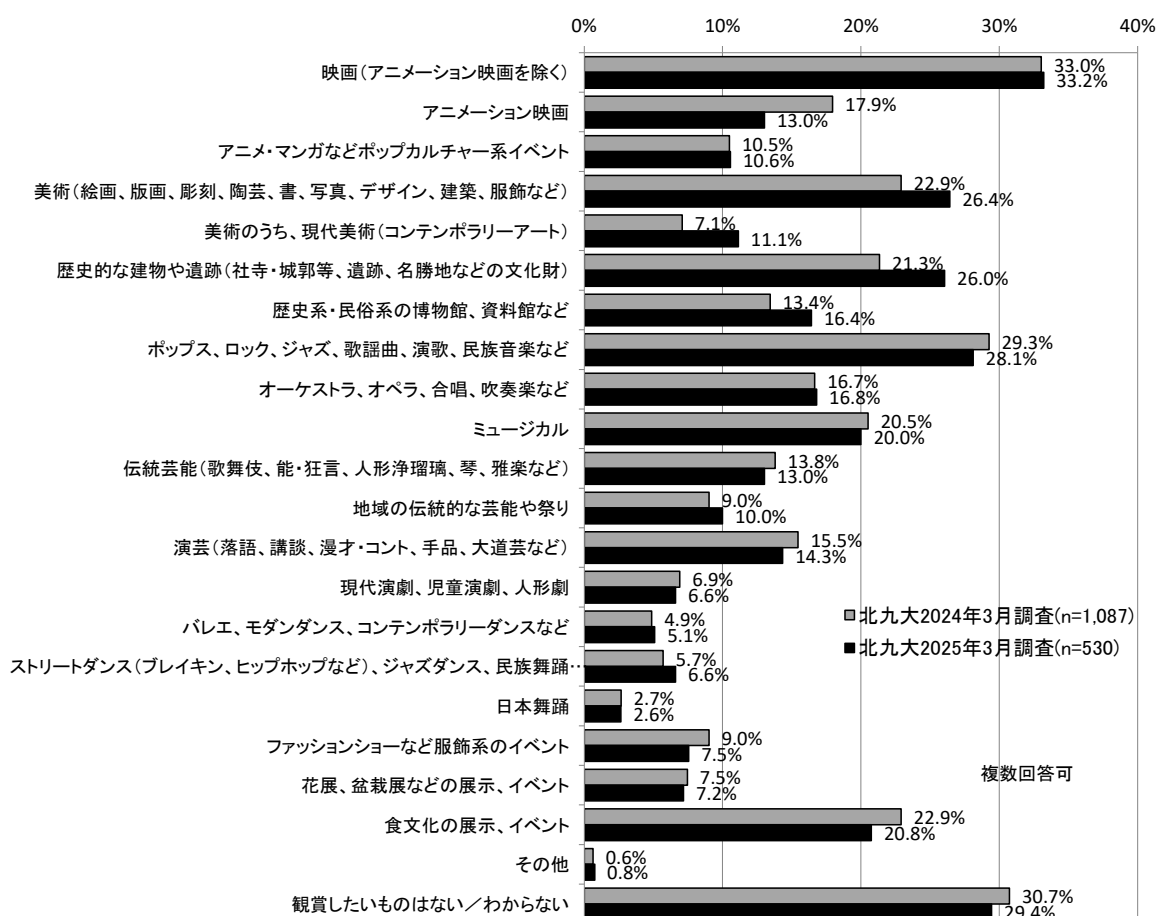


図 25 北九州市内で直接鑑賞できる機会が増えてほしい文化芸術分野（経年比較）

### ⑤ 文化芸術関連イベントを市役所が関わる形で開催する重要性

回答者全体に「北九州市の活性化に向けて、文化芸術関連イベントを市役所が関わる形で開催することは重要であると考えますか。最もあてはまるものを一つ選んでください」と尋ねた結果を図 26 に示す。

2024 年 3 月調査と 2025 年 3 月調査はほぼ一致した結果となっており、「とても重要である」が約 15%、「ある程度重要である」が約 45%となっており、多くの市民が重要性を認めており、否定的な回答は約 8%にとどまる。地域活性化を指向した文化芸術関連のイベントに対して行政が支援することについて、市民からの一定の理解が得られていると言える。

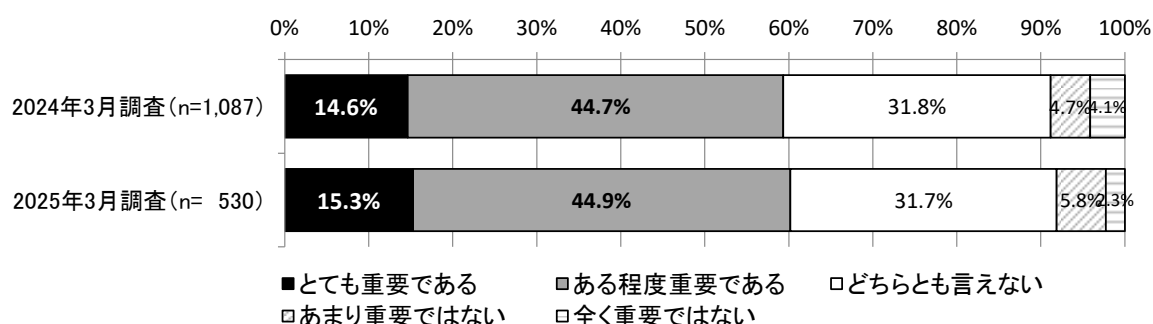


図 26 文化芸術関連イベントを市役所が関わる形で開催する重要性（経年比較）

### ⑥ 北九州市に対する愛着

最後の設問として、イベントには直接関係しないが、「あなたは、「北九州市」に対して「愛着」を感じますか。」と尋ねた結果を図 27 に示す。

「大いに感じる」、「やや感じる」という肯定的な回答が 80%以上となっており、多くの回答者が北九州市に一定の愛着を感じているものの、肯定的な回答がやや減少傾向となっている可能性がある。本設問については開始して 3 年しか経過していないため、今後の動向を注視する必要がある。

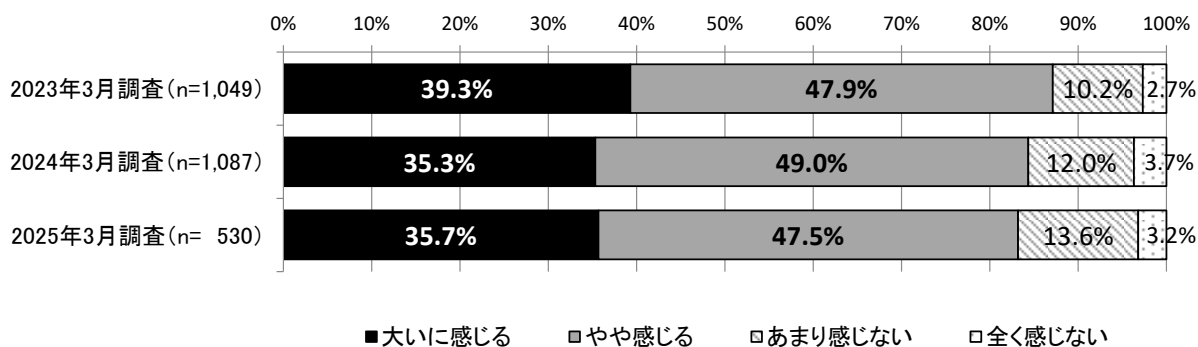


図 27 北九州市に対する愛着（経年比較）

#### 4. おわりに

本稿では、南（2024）等と同様、北九州市民を対象に毎年 2～3 月に定点観測的に行っているスポーツや文化芸術に関する意識調査を 2025 年 3 月に実施した結果を整理した。

スポーツ関連で特筆できる事項としては、ミクニワールドスタジアム北九州を利用したことがある市民からの「使われ方」に関する評価が過去最高となった一方、回答者全体における「今後のミクスタへの来場意向」は増加していない点、またギラヴァンツ北九州を応援する回答者は増加したものの「今後のギラヴァンツ北九州の試合をミクスタで観戦する意向」は増加していない点が挙げられる。ギラヴァンツ北九州に関しては、愛着を感じる市民の比率も高まっておらず、社会貢献活動等を通じてより多くの市民に親しまれ、観戦意欲が高まるような取り組みを一層充実させていくことが求められよう。

文化芸術関連で特筆できる事項としては、文化庁による全国調査と比較すると北九州市民の文化芸術の直接鑑賞率は高い傾向にあり、また「住んでいる地域の文化的な環境に対する満足度」も概ね高い傾向にあることが改めて明らかとなった点が挙げられる。評価が全国並みにとどまっている「文化芸術活動の実践」も含め、2025 年度からスタートする新しい「北九州市文化芸術推進プラン」に基づき、更なる文化芸術の振興が期待されよう。

今後も北九州市の文化芸術・スポーツイベント等に対する市民意識を継続把握し、文化芸術やスポーツが地域社会・地域経済の活性化に資するための検討材料を得ていきたい。

#### 注

- 1) 調査の実施に際しては、調査名によって回答者にバイアスが生じないように、「生活に関するアンケート」といったように、直接的にスポーツやギラヴァンツ北九州、あるいは文化芸術等の名称を表に出さないタイトルでモニターに回答依頼を行っている。
- 2) 「大変満足」5 点、「やや満足」4 点、「どちらとも言えない」3 点、「やや不満」2 点、「大変不満」1 点として、各評価の回答人数を乗じた上で平均点を算出した。
- 3) 2021～2023 年調査では、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する場合としない場合に分けて質問したが、2024 年 3 月調査からはコロナによる場合分けは行わず 2020 年 3 月調査までと同様の形に戻しており、2025 年 3 月調査においても同様である。
- 4) 文言としては「観賞」ではなく「鑑賞」が正しいが、アンケート調査の選択肢において「観賞」と表記していたため、そのまま「観賞」としている。なお、設問文章においては「鑑賞」と正しく表記していた。

#### 参考文献

- 1) 南博、神山和久、片岡寛之（2010）「J リーグ加盟当初のギラヴァンツ北九州に関する市民意識分析」、北九州市立大学都市政策研究所『スポーツを通じた地域活性化に関する基礎的研究』、pp.37-48

- 2) 南博（2012）「Jリーグ加盟 3 年目を迎えるギラヴァンツ北九州に関する市民意識分析」、北九州市立大学都市政策研究所『2011 年度におけるギラヴァンツ北九州に関する調査研究』、pp. 11-21
- 3) 南博（2013）「2013 年シーズン当初のギラヴァンツ北九州に対する市民意識調査速報」北九州市立大学都市政策研究所『北九州における「集客」の現状と課題～ギラヴァンツ北九州、B-1 グランプリ in 北九州～』、pp.29-38
- 4) 南博（2015）「2015 年シーズン開幕直前のギラヴァンツ北九州に対する市民意識」、北九州市立大学都市政策研究所『北九州における集客イベントの効果と展望』、pp.59-67
- 5) 南博（2016）「2016 年シーズン開幕直後のギラヴァンツ北九州に対する市民意識」、北九州市立大学都市政策研究所『北九州における集客イベントの効果と展望（2）』、pp.19-28
- 6) 南博（2017）「2017 年シーズン開幕直後のギラヴァンツ北九州および北九州スタジアムに対する市民意識調査の集計データ（速報）」北九州市立大学地域戦略研究所『北九州における集客イベントの効果と展望（3）』、pp.45-59
- 7) 南博（2018）「2018 年シーズン開幕直後のギラヴァンツ北九州およびミクニワールドスタジアム北九州に対する市民意識調査の集計データ」、北九州市立大学地域戦略研究所『北九州における集客イベントの効果と展望（4）』、pp.23-49
- 8) 南博（2019）「2019 年シーズン開幕直前のギラヴァンツ北九州、ミクニワールドスタジアム北九州、および北九州市における国際スポーツ大会等に関する市民意識調査の集計データ」北九州市立大学地域戦略研究所『北九州における集客イベントの効果と展望（5）』、pp.25-60
- 9) 南博（2020a）「2020 年シーズン開幕直後のギラヴァンツ北九州、ミクニワールドスタジアム北九州等に関する市民意識調査の集計データ」、北九州市立大学地域戦略研究所『北九州における集客イベントの効果と展望（6）』、pp. 23-40
- 10) 南博（2020b）「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会がキャンプ地にもたらした効果－北九州市を事例に－」、北九州市立大学地域創生学群『地域創生学研究』No.3、pp.1-36
- 11) 南博（2021）「コロナ禍における北九州市民の“観るスポーツ”への意識～ギラヴァンツ北九州、国際スポーツ大会を中心に」、『北九州市立大学地域戦略研究所年報』No.1、pp.89-115
- 12) 南博（2022a）「コロナ禍 2 年目におけるスポーツに対する北九州市民意識の変化」、『北九州市立大学地域戦略研究所年報』No.2、pp.87-118
- 13) 南博（2022b）「コロナ禍における地方都市での大規模国際スポーツ大会開催に対する市民意識～2021 世界体操・新体操選手権北九州大会を事例に」、北九州市立大学地域戦略研究所『地域戦略研究所紀要』No.7
- 14) 南博（2023）「ウィズコロナ時代の「みるスポーツ」等に対する北九州市民の行動、意識」、『北九州市立大学地域戦略研究所年報』No.3、pp.97-128
- 15) 南博（2024）「北九州市の文化芸術・スポーツイベント等に対する市民意識」、『北九州市立大学地域戦略研究所年報』No.4、pp.101-129
- 16) 文化庁（2023）「文化に関する世論調査報告書（令和 4 年度調査）」
- 17) 文化庁（2024）「文化に関する世論調査報告書（令和 5 年度調査）」
- 18) 北九州市 Web サイト <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/>